

令和3年度

小規模多機能型居宅介護 サービス評価

◆自己評価

事業所自己評価・・・・・・・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年11月29日(9:00~11:00)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 渡辺・田村・神原・越智・相原・村上・藤原・大内
藤原・矢野・國貞・松田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	5人	7人	0人	0人	12人

前回の改善計画
初期段階においては今まで以上に関わりを多く持ち、関わっていく中で気付いた事や新しい情報等は忘れないうちに申し送りノートに確実に記入して全職員で情報を共有し、適切な支援が行えるように対応していく。

前回の改善計画に対する取組み結果
利用者さんの希望・目標が達成できるように、特に利用開始から一か月間ぐらいはしっかりと話を聞き関わりを多く持ち、新しく得た情報は申し送りノート等職員間で共有しながら適切な支援が行えるように対応していきました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	3	9			12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	3	9			12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	3	9			12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	10			12

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ミーティングや申し送りノートで情報を共有し、職員間で気づいたことは話し合い、対応について確認しながら協力し合っている。
・利用開始時にはできるだけ不安を与えないように、様子をみながら気持ちに添える声かけや対応に気をつけて接するようになっている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・申し送りノート等へ新たな情報を記入し忘れていた時もあり、職員間で情報が共有できていない事がある。日常の介護業務に左右されて、ついつい記入を忘れる時がある。
・ゆとりがない時、丁寧な声かけができていない事がある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
新規利用の利用者さんの細かな情報を把握し、職員間で共有して適切に介護支援を行っていきけるように、関わりを多く持ちながら本人の思いをくみ取っていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年11月29日（9:00～11:00）

2. 「～したい」の実現（自己実現の尊重）

メンバー 渡辺・田村・神原・越智・相原・村上・藤原・大内
藤原・矢野・國貞・松田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0人	10人	2人	0人	12人

前回の改善計画
輝くシートは職員みんなで個々に記入しミーティングやカンファレンスで共有し、支援に活用していく。訴えの少ない利用者さんについても、ふれあう中で表情や顔をしっかりと観察して思いを汲み取り、具体的な援助の方針を検討し「～したい」の実現に取り組んでいく。
前回の改善計画に対する取組み結果
輝くシートへの記入はなかなか出来ていないが、一人ひとりの訴えや希望をくみ取りながら、ミーティングやカンファレンスで話し合い「～したい」の実現に取り組んでいる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？		6	6		12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？		8	4		12
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？		11	1		12
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	1	9	2		12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・ 毎日の関わりの中で本人の「～したい」思いを受容し、実現できるようにミーティング等で話し合い対応している。 ・ 利用者さんとの会話の中や、送迎時での家族さんとの会話の中から得た情報をミーティング等で話し合い、今後の支援につなげている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・ 利用者さんによっては意思の疎通が難しい。 ・ 認知症もあり本人の言いたい事がよく理解できていない時もある。 ・ 本人の本当の気持ちをなかなか聞きだせず、思いとは違った支援になったり我慢させてしまっている事があるかもしれない。

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
	訴えもなく意思疎通の難しい利用者さんに対しても「～したい」の実現に向けて、日々の関わりの中から表情の変化にも注視しながら思いをくみ取り、希望に沿った支援を提供できるように検討していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年11月29日（9:00～11:00）

3. 日常生活の支援

メンバー 渡辺・田村・神原・越智・相原・村上・藤原・大内
藤原・矢野・國貞・松田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	11人	0人	0人	12人

前回の改善計画
 アセスメント実施時に丁寧に日常生活の細かい部分の聞き取りを行い、利用者情報シートや申し送りノートを活用してスタッフみんなが情報を把握出来るようにする。自分らしく自立した生活を過ごしてもらえようミーティング等で話し合い、支援の方法を統一出来るようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果
 アセスメントで聞き取りをして得た情報は、利用者情報シートを回覧してスタッフ間で共有している。日々の関わりの中で気づいたことは、申し送りノートに記入しみんなで話し合いながら支援の方法を考えています。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？		7	5		12
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	3	8	1		12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？		11	1		12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	4	8			12
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	1	11			12

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- その日あったこと問題など何かあれば、その都度報告し皆で共有している。
- 利用者さんの体調や気持ちの変化などの気づきは、情報を共有して話し合い支援に繋げている。
- 食事、排泄についてはミーティング以外でも日々職員間で話し合い工夫している。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- 利用以前の、日常生活の細かい情報が把握できていない部分がある。
- 本人の声にならない声をどこまでわかってあげられているか不安がある。
- 利用者さんの自宅での過ごし方、生活環境について把握できていない所がある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

利用者さんとの日々の関わりの中での会話等から、以前の暮らし方や生活環境、日常生活の細かな情報を聞き取り、職員みんなで相談しながら本人に適した介護を提供できるように支援していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年11月29日(9:00~11:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 渡辺・田村・神原・越智・相原・村上・藤原・大内
藤原・矢野・國貞・松田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	4人	7人	1人	12人

前回の改善計画	継続して自宅でサービスを受ける前に行っていた地域行事やイベント等への参加や、一人ひとりの意向を確認しながら、本人が望む「地域」への参加が継続出来るよう、もう一度サービス利用前の地域との関わりについて再確認し、現在でも参加できそうな行事やイベントについては、出来るだけ参加できる様支援する。
前回の改善計画に対する取組み結果	コロナの影響でほとんどの地域行事やイベントが中止になり、地域との関わりを持つことは難しかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		7	5		12
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れなないように支援していますか?	2	5	4	1	12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		7	5		12
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		7	3	2	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・本人のこれまでの生活スタイルや人間関係等は、会話を通して理解するよう努めている。 ・本人や送迎時に家族さんとの会話の中から、以前・現在の日々の様子はだいたい把握しており、知り得た情報は皆で共有し支援に繋げている。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・コロナの影響もあり地域との関係は希薄になり、ご家族に接する時間の少なくなっている。 ・民生委員の方との接点が少なく、関わる事があまりない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 継続して自宅でサービスを受ける前に行っていた地域行事やイベント等への参加や、一人ひとりの意向を確認しながら、本人が望む「地域」への参加が継続出来るよう、もう一度サービス利用前の地域との関わりについて再確認し、現在でも参加できそうな行事やイベントについては、出来るだけ参加できる様支援する。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和3年11月29日（9:00～11:00）
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	渡辺・田村・神原・越智・相原・村上・藤原・大内 藤原・矢野・國貞・松田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組めましたか？	2人	9人	1人	0人	12人

前回の改善計画	前回同様、利用者本人の意見や意思を優先し、家族・介護者の意向を考慮しながら、必要な量のサービスが安心して受けられるように支援していく必要がある。いざという時に柔軟な対応が出来る様、普段からの利用者・家族との信頼関係を築き、何でも相談し合える関係性を作っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	急遽な泊りの希望にも、変更のお願いを他の利用者さんや家族さんに相談したら「お互い様だからかまわないですよ」と言っていただき、スムーズに調整できている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？		8	4		12
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	4	7	1		12
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	3	9			12
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	3	7	2		12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 利用者さん家族さんの声をしっかりと聴きながら、ニーズに応じて支援できている。 本人の変化はすぐに他のスタッフへも伝え対応している。また、家族さんへ伝える必要がある場合は直ぐに伝えるようにしている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> コロナの影響で地域の資源を使っでの支援は難しい状況だった。 訴えの少ない利用者さんについては、つつい家族さんの思いを優先した支援になりがちである。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
訴えの少ない利用者さんについても出来る限り本人の気持ちをくみ取り、思いが反映された必要なサービスを提供できるように支援していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年11月29日（9:00～11:00）

6. 連携・協働

メンバー 渡辺・田村・神原・越智・相原・村上・藤原・大内
藤原・矢野・國貞・松田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0人	2人	6人	4人	12人

前回の改善計画	気軽に事業所に来てもらえるように、地域合同避難訓練や夏祭り等のイベント時には、施設内を見学して頂いたり、支部便りやもっと地域の方へ事業所の紹介や役割を発信していくようにする。今後も、他サービス機関とも定期的に、また必要時には随時担当者会議を実施し、迅速に対応できるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	コロナウイルスの影響で地域との連携・協働を図るのは難しかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？		3	4	5	12
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1	2	3	6	12
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	1	1	4	6	12
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？		2	3	7	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍でもあり地域との連携は難しいが、タブレットの導入で交流の可能性の幅が広がっている。 ・今年もコロナの為に行事やイベントは中止になり参加していないが、例年では積極的に参加できていると思う。 ・入院した利用者さんについては、医療機関とも連絡を取りながら状態の把握をするようにしている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・まだまだ地域の方が気軽に事業所を訪問してもらえるような環境は整っていない。 ・今年もコロナの影響で事業所のイベントや地域の活動もほとんどが中止となり、ボランティアさんの受け入れも出来ない状態である。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>コロナの状況をみながら引き続き気軽に事業所に来てもらえるように、地域合同避難訓練や夏祭り等のイベント時には、施設内を見学して頂いたり、支部便りやもっと地域の方へ事業所の紹介や役割を発信していくようにする。今後も、他サービス機関とも定期的に、また必要時には随時担当者会議を実施し、迅速に対応できるようにする。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年11月29日(9:00~11:00)

7. 運営

メンバー 渡辺・田村・神原・越智・相原・村上・藤原・大内
藤原・矢野・國貞・松田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	8人	2人	2人	12人

前回の改善計画
前回同様、誰でも気軽に訪れ、相談できる事業所であるように機会があれば外部に情報を発信し、外部評価結果なども有効に利用して、事業所を少しでも知って頂けるようにしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
今年もコロナウイルスの影響で事業所での色々な行事やイベントが中止となり、施設内を自由に見学して頂ける機会を設ける事は出来なかった。運営推進会議での参加者からの意見を参考に、サロンへ参加をすすめたり、今後見学会などを行い率直な意見を聞かせて頂きながら、少しでも地域に根付いた事業所となるようにスタッフみんなで目指しています。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	1	6	2	3	12
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	7	2	2	12
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	8		3	12
④	地域に必要なとされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?		9		3	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・運営推進会議で事業所の状況やヒヤリ・ハット等の報告を行い意見交換が出来ている。 ・ミーティングなどで運営について意見交換をしている。 ・家族さんから意見、苦情、要望などがあればすぐに申し送りをして対応し、再度ミーティング等で話し合い、調整したり改善が必要であれば改善していくようにしている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・運営推進会議以外で地域の方から意見を聞く事が少ない。 ・地域の方との関わる機会が少なく、つながりが希薄である。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	継続して誰でも気軽に訪れ、相談できる事業所であるように機会があれば外部に情報を発信し、外部評価結果なども有効に利用して、事業所を少しでも知って頂けるようにしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年11月29日(9:00~11:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 渡辺・田村・神原・越智・相原・村上・藤原・大内
藤原・矢野・國貞・松田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	2人	7人	3人	12人

前回の改善計画	自己のスキルアップを図る為に、内部研修に参加したり、苦手とする部分や希望する内容の外部研修に年に1回は参加できるように段取りして、介護の質を向上していけるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	コロナの影響でほとんどの研修が中止となり、参加することが出来なかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	1	1	1	9	12
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		2	2	8	12
③	地域連絡会に参加していますか		3	1	8	12
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		9		3	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・ヒヤリ・ハット報告書を記録に残し、ミーティング等で話し合いながら再発防止に取り組んでいる。 ・コロナの影響がでるまでは内部研修や外部研修に参加し、サービスの向上を図っていた。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・内部研修に参加する職員は限られている。 ・コロナの影響でほとんどの研修が中止となり、研修に参加する機会がほとんどなかった。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 継続して自己のスキルアップを図る為に、内部研修に参加したり、苦手とする部分や希望する内容の外部研修に年に1回は参加できるように段取りして、介護の質を向上していけるようにする。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年11月29日（9:00～11:00）

9. 人権・プライバシー

メンバー 渡辺・田村・神原・越智・相原・村上・藤原・大内
藤原・矢野・國貞・松田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	2人	7人	2人	1人	12人

前回の改善計画
前回同様、権利擁護について、内部・外部研修へ参加し、制度の理解と、身の回りの方々に該当者がいる場合、的確なアドバイスが出来るようにする。他研修同様、ミーティングで伝達研修を行い、スタッフみんなで知識と技術の習得を図る。
前回の改善計画に対する取組み結果
権利擁護についての研修会に参加できておらず、権利擁護への知識と理解が不十分である。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	8	3		1	12
②	虐待は行われていない	8	3		1	12
③	プライバシーが守られている	7	4		1	12
④	必要な方に成年後見制度を活用している	4	5	1	2	12
⑤	適正な個人情報の管理ができている	8	2	1	1	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・身体拘束や虐待については十分に理解しており、行われていない。 ・人権やプライバシーを意識してケアするように心がけて支援している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・成年後見制度を利用している利用者さんもおらず、制度への理解や知識が不十分である。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
成年後見制度についての研修へ参加し、制度の理解と、該当者がいる場合、的確なアドバイスが出来るようにする。	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 今治市社会福祉協議会	代表者	会長 長野 和幸	法人・事業所の特徴	瀬戸内海のほぼ中央に位置しており、海と山に囲まれた自然豊かな島の中にゆったりと佇む事業所は、古民家を移築したもので木のぬくもりに溢れている。広々とした敷地の中には、グループホームやデイサービスセンター、近隣には保健センターもあり福祉の拠点となっている。 多くの職員が開設当初から勤務しており、チームワークを大切に笑顔で利用者さん一人ひとりと向き合いながら、夢のある暮らしの実現に向けて持っている力を発揮して頂けるよう支援している。
事業所名	今治市社協 小規模多機能ゆいの村	管理者	渡辺 富彦		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	2人	1人	5人	0人	0人	1人	4人	1人	0人	14人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・事前地域かかわりシートを記入してもらい事業所の見学も行い、運営推進会議の時に外部評価がスムーズに行えるようにする。	・事前事業所自己評価と外部評価地域かかわりシートを配布させてもらい記入して頂きました。事業所の見学はコロナウイルス感染防止の為中止とし、スライドショーを作成し事業所での活動の様子を見て頂きました。その後地域かかわりシートの各項目の内容について運営推進会議の場を借りて説明をしながら、意見を聞くことが出来ました。	・スライドショーを見て事業所で利用者がどのように過ごしているのかが分かり、職員の様子も知ることができたのでとても良かった。	・継続して、事前地域かかわりシートを記入してもらいコロナウイルスが落ち着いてからは事業所の見学も行い、運営推進会議の時に外部評価がスムーズに行えるようにする。
B. 事業所のしつらえ・環境	・運営推進委員さんへも、行事やイベントへの参加はもちろん、自由に来所頂いたり、運営推進会議の場を利用し、見学して頂く回数を増やすなどしながら、率直なご意見を確認し、改善につなげていく。	・新型コロナウイルスの影響でほとんどの行事やイベントが中止になり、運営推進委員さんの行事への参加や事業所に自由に訪問して頂くことも出来なかった。	・居心地が良く日常生活の中で本人らしく気持ちにゆとりを持って暮らせるように支援する様努めている。	・継続して、運営推進委員さんへも、行事やイベントへの参加はもちろん、自由に来所頂いたり、運営推進会議の場を利用し、見学して頂く回数を増やすなどしながら、率直な意見を確認し、改善につなげていく。
C. 事業所と地域のかかわり	・もっと地域の方が気軽に訪れる事ができ、交流や相談に来るなど、事業所が地域の交流の拠点や相談所になる事が出来るようにする。	・新型コロナウイルスの影響で、地域の方が気軽に訪問して交流したり相談できる機会を確保することは出来なかった。	・コロナウイルスの影響で外部との交流が困難な中、いろいろ工夫して利用者さんの為にしている感心した。	・継続して、もっと地域の方が気軽に訪れる事ができ、交流や相談に来るなど、事業所が地域の交流の拠点や相談所になる事が出来るようにする。
D. 地域に向いて本人の暮らしを支える取組み	・地域の行事やイベントだけでなく、利用者さん一人ひとりが今まで地域を担ってきた役割を改めて確認、理解し、在宅で今までできるようにできていたお墓参り、お祭りへの参加、サロン活動や近所の方々との交流等も継続できるようにする。	・お祭り等、地域行事が中止となり出かけて参加する機会が無かったので、定期的にドライブをして利用者さん個々が住み慣れた地域へ出かけて行きました。地域を問わず、外に出かけることを楽しみにされている利用者さんもいて、慣れ親しんだ風景を見て、色々昔を思い出して楽しくお話しして気分転換をする事が出来ました。	・地域で行われているサロン活動等、開催される時には参加して地域との繋がりを継続出来ている。	・継続して、地域の行事やイベントだけでなく、利用者さん一人ひとりが今まで地域を担ってきた役割を改めて確認、理解し、在宅で今までできるようにできていたお墓参り、お祭りへの参加、サロン活動や近所の方々との交流等も継続できるようにする。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・運営推進会議の時に地域包括支援センターの方から、地域で困っている方等をピックアップしてもらい、どのように関わり支援していくかばよいか検討していく。	・地域包括支援センターの方や保健師さんから地域で困っている方の情報を出して頂き、どのように関わり支援していくかばよいか運営推進会議の参加者で話し合い検討することが出来ました。	・今後も地域で困っている方の情報を共有し、より良い関わり方を検討していけたらと思う。	・運営推進会議の時に地域包括支援センターの方や保健師さんから、地域で困っている方等をピックアップしてもらい、どのように関わり支援していくかばよいか検討していく。
F. 事業所の防災・災害対策	・地域の住民の方と一緒に消火避難訓練を行い、先ずは災害時の対応マニュアルについて説明し、引き続き消火避難訓練に参加して頂く。他の自然災害時の訓練も随時実施しながら、同様に可能な限り参加頂き、一緒に対応について検討していく。	・地域住民の方との合同消火避難訓練は、新型コロナウイルスの影響で実施できませんでした。2回/年の消火避難訓練を実施しました。反省会を通じ次回開催に向けての課題をクリアできる様、毎年繰り返し訓練を実施していこうと思います。	・災害の種類によっては、被害状況が予測されます。自然災害は予測通りにはいきませんが、市や県が予測している規模の災害は起きることを想定して、対策を行ってください。	・継続して、地域の住民の方と一緒に消火避難訓練を行い、先ずは災害時の対応マニュアルについて説明し、引き続き消火避難訓練に参加して頂く。他の自然災害時の訓練も随時実施しながら、同様に可能な限り参加頂き、一緒に対応について検討していく。